

あけましておめでとうございます

令和8年の輝かしい新年を町民の皆様お健やかにお迎えのこととお慶びを申し上げます。

私自身自治会長として3年目が残り3か月となりました。

町民の皆様には、大変お世話になっておりますことに改めて感謝申し上げます。

昨年の大利根町の自治会活動を振り返ってみたいと思います。

1 町社協チーム大利根の活動

令和7年中のチーム大利根の活動は、前年からの「ふれあいサロン」「生活支援パートナー紹介サービス」、「ホームページの活用」に加え

「**おおとね食堂（子ども＋高齢者）**」

4月から毎月、共愛学園前橋国際大学の学生さん達により開催

「**夏休みおおとね勉強・ポスター教室**」

8月にNPO法人Next Generation(理事長小高広大)の協力により開催

2 公園整備充実

＊ **中央公園ボランティア活動支援**＝大和リース㈱の社員の皆様による支援（6年度に引き続き）

＊ **すみれ公園遊具ペイント**＝まえばししこどもアイデアまちづくりプロジェクトに応募した「大利根町だいすきっず」による遊具ペイントを11月16日（日）に開催



3 ミニ祭り開催

8月30日（土）、大利根町公民館においてミニ祭り開催

本来は、お祭りと文化祭を隔年で実施しておりましたが、子ども達によるお囃子の伝承を確保するため、ミニ祭りとして開催

4 文化祭の開催

11月15日（土）、16日（日）の両日、公民館において開催



回覧

大利根

ミニ広報紙

第28号

令和8年1月号

発行

大利根町公民館
（生涯学習）

電話

253-0949

編集責任者

岡 正雄
（自治会長）

ご意見・ご要望
をお寄せください。



5 他県の自治会による視察研修の受け入れ

* 山形県鶴岡市大山自治会（15町の自治会連合会）

9月10日（水）、「大利根町自治会の運営及びホームページの開設、運用」に関する視察研修が行われました。

* 栃木県上三川町自治会（自治会連合会役員）

10月6日（水）、大利根町自治会の運営状況に関する視察研修・情報交換が行われました。

6 事例発表と新聞報道

7年中の大利根町自治会に関する新聞報道は次のとおりです。

* 6月29日上毛新聞

同紙の特集記事「Re ぐんま 人口減の先に」の6回目に「支え合う 大規模団地」として掲載されました。

* 10月29日

前橋市社会福祉協議会主催の町社協活動情報交換会において東地区代表として「繋がる 支え合う 大利根町社協チーム大利根ホームページ作成」と題して発表しました。

* 11月19日朝日新聞

上記発表の様子が朝日新聞に掲載されました。

THE JOMO SHINBUN 2025年(令和7年) 6月29日(日曜日) (日)

Reぐんま 人口減の先に

6 前橋市大利根町 支え合う大規模団地

HP作成、チームの絆

「地味な仕事で、地味な人達が集まる」というイメージが、前橋市大利根町の自治会ホームページ制作チームに広がっていた。メンバーは、地元で暮らす高齢者や、子育て世代、若年層など、多岐にわたる。しかし、彼らは、この大規模団地の運営を、支え合うことで乗り越えていく。この団地は、1967年に第1回分譲が行われ、69年に大利根町が誕生した。拠点である公民館は自治会が運営。建設に当たり当時の各世帯が3万円を出した。88年5月末に3562人だった町人口は、今年4月末で2821人に減り、人口に対する55歳以上の割合(今年3月)

半世紀超え高齢化

末時市は1丁目34.22%、2丁目41.82%で、市全体の30.33%を上回っている。町民によれば、団地は、歴史が古いものといえ、中央公園にある67年3月建立の団地造成記念碑という。碑は当時の神田町六町地区の名で「この団地はこの土地を耕作していた人々の善意により造成することができた」と刻まれている。

「地味な仕事で、地味な人達が集まる」というイメージが、前橋市大利根町の自治会ホームページ制作チームに広がっていた。メンバーは、地元で暮らす高齢者や、子育て世代、若年層など、多岐にわたる。しかし、彼らは、この大規模団地の運営を、支え合うことで乗り越えていく。この団地は、1967年に第1回分譲が行われ、69年に大利根町が誕生した。拠点である公民館は自治会が運営。建設に当たり当時の各世帯が3万円を出した。88年5月末に3562人だった町人口は、今年4月末で2821人に減り、人口に対する55歳以上の割合(今年3月)

2025年(令和7年) 11月19日(水)

「町社協」地域で支え合い

前橋市取り組み

自治会が設立 自ら課題解決

国内では人口減が進む中、2040年には高齢者の割合が3分の1まで増え、深刻な働き不足に直面する見込み。その中で、各自治体は、介護予防を促したり、要介護状態になっても支え合って地域で過ごせるようにしたりと、さまざまな取り組みを進めている。前橋市でも、市社会福祉協議会と連携し、この取り組みを推進している。前橋市では、市社会福祉協議会と連携し、この取り組みを推進している。前橋市では、市社会福祉協議会と連携し、この取り組みを推進している。

HPに生活情報・困りごと相談窓口…

「町社協」は、町民の生活情報を提供し、困りごと相談窓口として機能している。町民は、このHPを通じて、生活情報や困りごとを相談できる。町民は、このHPを通じて、生活情報や困りごとを相談できる。町民は、このHPを通じて、生活情報や困りごとを相談できる。